

2008年10月16日(木) 17日(金) 18日(土)

製品展示会場：アスティとくしま 〈徳島市山城町東浜傍1-1〉

「とくしま SOY くふう」とは・・・

世界的な大豆不足と価格高騰、消費者の食に対する意識の高まりを背景に、安全安心な大豆原料の安定確保による食品づくり、製造工程から生じる副産物「オカラ」の有効利用が重要となっております。

このため、平成19年11月、県内の食品製造業者、農業者、大学、公設試験研究機関等が連携し、「地域資源循環型ビジネス研究会」を立ち上げ、「安全安心な大豆」を「キーワード」に、農業→食品生産(大豆加工品等)→飼料肥料等の生産→畜産業への利用→農業という循環の輪(ループ)を形成し、そのループから安全・安心な商品や新ビジネスを創出するための活動を開始しました。

こうした活動から生まれた数々の製品を総称するブランドとして、
この度、「とくしま SOY くふう」というネーミングを行いました。



■シンボルマーク

ループのイメージに「大豆」をシンボライズとして組み合わせ、シンボルから伸びる葉は、循環型ビジネスから生み出される新商品、新技術、新生産システムを表す。徳島の「とく」の文字を隠し絵的に配置。



大豆タンパクの有効活用に着目した業種融合イメージ図

